

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

□ライフスタイル学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ライフスタイル学科では、愛知学泉大学の掲げる建学の精神を尊重し、暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱き、より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者及び、衣・食・住および地域活性のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、生物・化学、数学、英語、家庭科に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ①日常の生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
- ②他者の考えを理解し、自分の考えと合わせて課題を分析することができる。
- ③適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(A-3)主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ①衣・食・住をはじめとして家族・家庭、地域、環境など暮らしに関わる様々な事象に強い関心を持っている。
- ②大学での学びの過程で、社会人基礎力を伸ばし、pisa型学力を身につけたいと考えている。
- ③建学の精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(B)行動特性について

- ①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

- ①知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ②思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。
- ④行動特性については、面接および調査書で確認します。
- ⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

□管理栄養学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

管理栄養学科では、栄養学に強い関心を抱き、「疾病治療」・「疾病予防」・「食育・食環境の整備」などの分野で管理栄養士として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

化学・生物、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①食を取り巻く課題を積極的に発見し、自分の考えをまとめることができる。

②自分の考えを他者にわかりやすく説明できる能力を持っている。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

①管理栄養士として活躍し、将来的にはその指導的な役割を担う意欲を持っている。

②疾病と栄養との因果関係に関心を持ち、その解明に努力をすることができる。

③食を取り巻く問題を積極的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(B)行動特性について

①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。

②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。

③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。

④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

①知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。

②思考力・判断力・表現力については、記述式の筆記試験および面接で確認します。

③主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。

④行動特性については、面接および調査書で確認します。

⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

□こどもの生活学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

こどもの生活学科では、子どもの教育・保育に関して強い関心を抱き、この分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、数学、英語、生物・化学に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ①子どもを取り巻く環境に関する課題を発見し、自分の考えをまとめることができる。
- ②適切な表現方法で、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
- ③体育や芸術の分野において自分らしさを表現することができる。

(A-3)主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ①将来の目標を明確に持っている。
- ②常に自分がすべきことを考えて取り組むことができる。
- ③指示されたこと以上の成果を出そうする意欲がある。

(B)行動特性について

- ①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

- ①知識・技能は、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ②思考力・判断力・表現力等は、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③主体的に学習に取り組む態度は、面接および調査書で確認します。
- ④行動特性は、面接および調査書で確認します。
- ⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

□家政学専攻のアドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

家政学専攻では、愛知学泉大学の掲げる建学の精神を尊重し、衣・食・住を中心とした暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱き、より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者及び衣・食・住の領域のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、生物・化学、数学、英語、家庭科に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ① 日常生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
- ② 他者の考えを理解し、自分の考えと合わせて課題を分析することができる。
- ③ 適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(A-3)主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ① 衣・食・住をはじめとして家族・家庭、地域、環境など暮らしに関わる様々な事象に強い関心を持っている。
- ② 大学での学びの過程で、社会人基礎力を伸ばし、pisa 型学力を身につけたいと考えている。
- ③ 建学の精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(B)行動特性について

- ① 何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

- ① 知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ② 思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。
- ④ 行動特性については、面接および調査書で確認します。
- ⑤ ①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

□管理栄養士専攻のアドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

管理栄養士専攻では、栄養学に強い関心を抱き、「チーム医療」・「健康増進・疾病予防」・「食育・栄養指導」・「健康をテーマにした食品の研究・開発」などの分野で管理栄養士として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

化学・生物、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ①食を取り巻く課題を積極的に発見し、自分の考えをまとめることができる。
- ②自分の考えを他者にわかりやすく説明できる能力を持っている。

(A-3)主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ①管理栄養士として活躍し、将来的にはその指導的な役割を担う意欲を持っている。
- ②疾病と栄養との因果関係に関心を持ち、その解明に努力をすることができる。
- ③食を取り巻く問題を積極的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(B)行動特性について

- ①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

- ①知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ②思考力・判断力・表現力については、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。
- ④行動特性については、面接および調査書で確認します。
- ⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

□こどもの生活専攻のアドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

こどもの生活専攻では、子どもの教育・保育に関して強い関心を抱き、この分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素について

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、数学、英語、生物・化学に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ①子どもを取り巻く環境に関する課題を発見し、自分の考えをまとめることができる。
- ②適切な表現方法で、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
- ③体育や芸術の分野において自分らしさを表現することができる。

(A-3)主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ①将来の目標を明確に持っている。
- ②常に自分がすべきことを考えて取り組むことができる。
- ③ 指示されたこと以上の成果を出そうする意欲がある。

(B)行動特性について

- ①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C)評価について

- ①知識・技能は、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ②思考力・判断力・表現力等は、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③主体的に学習に取り組む態度は、面接および調査書で確認します。
- ④行動特性は、面接および調査書で確認します。
- ⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

以上